

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科博士前期課程
2024年4月入学 一般入試（第2回）

入学試験問題

教育研究分野	宗教人間文化論、日本文化論、医事法学、科学史技術論、 臨床死生学、ソーシャル・イノベーション論
科目	論述試験Ⅰ

下の文章を読んで【設問】に答えなさい。

【設問1】この文章より読み取れる現代日本社会が抱える課題とその解決のための取り組みを抽出しなさい。

【設問2】設問1で抽出した課題と解決のための取り組みに対するあなたの考えを入学後に専攻する分野の観点から具体的に論述しなさい。

以上

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科博士前期課程
2024年4月入学 一般入試（第2回）

入学試験問題

教育研究分野	日本文化論
科目	論述試験Ⅱ

問題 次の文章を読んで、設問に答えなさい。

→裏面に続く

(小林武彦『生物はなぜ死ぬのか』講談社、2021年。問題作成の都合上、文章を加工している。)

設問 1 上の文章で示された「死」の捉え方について説明せよ。

設問 2 上の文章をふまえて、「死」をめぐる日本における思想の展開を論じなさい。

以 上

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科博士前期課程
2024年4月入学 一般入試（第2回）

入学試験問題

教育研究分野	科学史技術論
科目	論述試験Ⅱ

下の文章を読んで、次の【設問】に答えよ。

【設問1】この文章は人類の感染症対策の歴史の一コマであるが、天然痘の「牛痘種痘」を開発する際に、文章中にあげられたもの以外にも現代に通底するような課題（問題）があった。そのことについて論述せよ。

【設問2】人類は医学や医療技術を開発・発達させることにより病を克服してきたといえるが、それにともない新たな課題に直面することにもなった。①それらの課題のなかから事例を一つあげて、②その課題の本質はなんであるのか、③その課題を克服（解決）するためにはどのような対策があるのか、考えを述べよ。

(河村豊ほか編『未来を考えるための科学史・技術史入門』北樹出版、2023年、
pp. 208-210。問題作成の都合上、文章を加工している。)

以上